



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月7日

東

上場会社名 株式会社中山製鋼所 上場取引所
コード番号 5408 URL <https://www.nakayama-steel.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 箱守 一昭
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営本部長 (氏名) 阪口 光昭 (TEL) 06-6555-3035
四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 2023年12月1日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	92,883	△0.4	6,558	△15.7	6,527	△15.3	4,395	△26.4
2023年3月期第2四半期	93,273	27.1	7,780	235.3	7,711	272.5	5,976	370.4

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 4,770百万円(△20.0%) 2023年3月期第2四半期 5,960百万円(335.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	81.18	—
2023年3月期第2四半期	110.39	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	153,887	100,456	65.3
2023年3月期	148,787	96,859	65.1

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 100,456百万円 2023年3月期 96,859百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	33.00	—	22.00	55.00
2024年3月期	—	19.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	180,000	△4.5	11,400	△16.4	11,000	△17.7	6,800	△33.5	125.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期2Q	63,079,256株	2023年3月期	63,079,256株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	8,921,566株	2023年3月期	8,942,937株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期2Q	54,143,527株	2023年3月期2Q	54,136,565株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する内容は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しております。実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件等につきましては、添付資料2ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8
3. その他	9
参考資料	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済活動が正常化したことにより企業収益や雇用環境が改善する中で、個人消費や設備投資が持ち直し、緩やかに回復しました。一方で、国際情勢が不安定な中で、原燃料価格の高止まりや物価上昇など、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの主力事業である鉄鋼業界におきましては、自動車向け需要は半導体を中心とした部品供給制約の緩和により回復しましたが、産業機械向けや建築向けの国内需要は弱含みで推移しました。

このような状況の中で、当社グループは、中期経営計画(2022年度～2024年度)の重点方針に沿って、グループ一体での加工分野の強化、鉄源多様化の促進や製造コストの削減に努めてまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高928億83百万円(前年同期比3億89百万円減)、営業利益65億58百万円(前年同期比12億21百万円の減益)、経常利益65億27百万円(前年同期比11億83百万円の減益)、親会社株主に帰属する四半期純利益43億95百万円(前年同期比15億80百万円の減益)となりました。

当第2四半期連結累計期間における各セグメントの業績は、次のとおりであります。

鉄鋼につきましては、主原料であるスクラップ価格が弱含みで推移し前年同期比で下落しましたが、エネルギー価格の上昇、設備トラブルの影響によるコストアップや棚卸資産評価差などにより減収減益となりました。これらの結果、売上高は914億27百万円(前年同期比4億12百万円減)、経常利益は62億53百万円(前年同期比11億58百万円の減益)となりました。

エンジニアリングにつきましては、前年同期に比べ海洋部門の受注が増加したことなどにより、売上高は9億44百万円(前年同期比36百万円増)、経常利益は49百万円(前年同期比39百万円の増益)となりました。

不動産につきましては、賃貸収入を中心に安定した収益を確保し、売上高は5億12百万円(前年同期比13百万円減)、経常利益は3億47百万円(前年同期比5百万円の減益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、1,538億87百万円となり、前連結会計年度末と比べ51億円増加しました。これは主として、原材料及び貯蔵品の増加によるものであります。

負債については、534億31百万円となり、前連結会計年度末と比べ15億3百万円増加しました。これは主として、支払手形及び買掛金の増加によるものであります。

純資産については、1,004億56百万円となり、前連結会計年度末と比べ35億96百万円増加しました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び配当金の支払いによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、各国の金融引締めによる景気の減速、地政学リスクに伴うエネルギー価格の上昇懸念や中国の経済・需給動向など、経済および鉄鋼需要の下振れリスクが想定されます。また、物価・人件費の上昇や人手不足による建設計画の縮小や中止など当面厳しい需要環境が続くものと思われま

す。このような環境のもとで、当社グループは中期経営計画の施策を着実に実行し、鋼材から加工品まで一貫した利益を高めつつ、適正な鋼材スプレッドの確保に努めてまいります。また、上期の設備トラブルについては10月上旬に実施した対策工事が完了しましたので、今後は安定稼働によるコスト削減に注力してまいります。

以上の状況を踏まえ、2024年3月期の連結業績予想につきましては、売上高1,800億円、営業利益114億円、経常利益110億円、親会社株主に帰属する当期純利益68億円を見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,775	16,603
受取手形、売掛金及び契約資産	35,908	36,675
電子記録債権	9,472	8,838
商品及び製品	16,705	15,378
仕掛品	5,632	5,726
原材料及び貯蔵品	12,465	16,560
その他	680	756
貸倒引当金	△57	△32
流動資産合計	97,582	100,507
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,770	7,116
機械及び装置（純額）	13,474	13,714
土地	22,992	22,616
その他（純額）	1,665	2,292
有形固定資産合計	44,903	45,739
無形固定資産	544	490
投資その他の資産		
投資有価証券	3,150	3,626
差入保証金	1,364	2,380
その他	1,283	1,182
貸倒引当金	△41	△40
投資その他の資産合計	5,756	7,149
固定資産合計	51,204	53,379
資産合計	148,787	153,887

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,577	24,130
電子記録債務	1,631	2,106
短期借入金	2,620	2,590
1年内償還予定の社債	27	-
未払金	1,726	3,042
未払費用	1,876	1,839
未払法人税等	3,270	2,160
賞与引当金	1,135	1,072
環境対策引当金	237	11
解体撤去引当金	41	41
その他	2,697	575
流動負債合計	35,842	37,571
固定負債		
長期借入金	7,629	7,343
繰延税金負債	2,985	3,119
再評価に係る繰延税金負債	1,001	1,001
環境対策引当金	233	233
解体撤去引当金	362	362
関係会社事業損失引当金	119	165
退職給付に係る負債	2,437	2,379
その他	1,314	1,255
固定負債合計	16,085	15,859
負債合計	51,927	53,431
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,044	20,044
資本剰余金	7,826	7,841
利益剰余金	66,179	69,402
自己株式	△775	△774
株主資本合計	93,274	96,514
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,213	1,586
繰延ヘッジ損益	0	-
土地再評価差額金	2,421	2,402
退職給付に係る調整累計額	△49	△47
その他の包括利益累計額合計	3,585	3,941
純資産合計	96,859	100,456
負債純資産合計	148,787	153,887

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	93,273	92,883
売上原価	79,477	79,981
売上総利益	13,796	12,902
販売費及び一般管理費		
販売費	2,612	2,687
一般管理費	3,403	3,655
販売費及び一般管理費合計	6,016	6,343
営業利益	7,780	6,558
営業外収益		
受取利息	28	27
受取配当金	45	51
持分法による投資利益	94	83
受取保険金	8	66
その他	78	57
営業外収益合計	256	285
営業外費用		
支払利息	123	71
賃借料	74	69
その他	127	175
営業外費用合計	325	316
経常利益	7,711	6,527
特別利益		
固定資産売却益	3	551
スクラップ売却益	539	189
その他	164	106
特別利益合計	707	847
特別損失		
固定資産除却損	478	947
その他	190	46
特別損失合計	669	994
税金等調整前四半期純利益	7,748	6,380
法人税、住民税及び事業税	2,548	2,023
法人税等調整額	△775	△38
法人税等合計	1,772	1,985
四半期純利益	5,976	4,395
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,976	4,395

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	5,976	4,395
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△22	373
繰延ヘッジ損益	0	△0
退職給付に係る調整額	6	1
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	△15	374
四半期包括利益	5,960	4,770
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,960	4,770
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	鉄鋼	エンジニア リング	不動産	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	91,839	907	—	92,747	—	92,747
その他の収益	—	—	526	526	—	526
外部顧客への売上高	91,839	907	526	93,273	—	93,273
セグメント間の内部売上高又は振替高	153	15	143	312	△312	—
計	91,993	922	669	93,586	△312	93,273
セグメント利益 (経常利益)	7,412	10	353	7,776	△65	7,711

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	7,776
セグメント間取引消去	△7
全社営業外損益(注)	△57
四半期連結損益計算書の経常利益	7,711

(注) 全社営業外損益は、主に報告セグメントに帰属しない営業外収益と営業外費用の差額であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	鉄鋼	エンジニア リング	不動産	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	91,427	944	—	92,371	—	92,371
その他の収益	—	—	512	512	—	512
外部顧客への売上高	91,427	944	512	92,883	—	92,883
セグメント間の内部売上高又は振替高	111	40	207	360	△360	—
計	91,538	984	720	93,243	△360	92,883
セグメント利益 (経常利益)	6,253	49	347	6,651	△123	6,527

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	6,651
セグメント間取引消去	△19
全社営業外損益(注)	△104
四半期連結損益計算書の経常利益	6,527

(注) 全社営業外損益は、主に報告セグメントに帰属しない営業外収益と営業外費用の差額であります。

3. その他
(参考資料)

(単 独) 売 上 高 内 訳 表

(単位：百万円)

		2022年度	2023年度	増 減
		上期 ①	上期 ②	前年同期比 (②-①)
鋼 材		72,230	72,028	△201
販売数量	千ト	(541.7)	(548.8)	(7.1)
販売単価	千円/ト	(133.3)	(131.2)	(△2.1)
そ の 他		1,892	1,917	24
合 計		74,122	73,945	△176
(うち、輸出)		(3,422)	(3,353)	(△68)